

【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名		科目名		
時期・単元	内容のまとめり	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
前期(4月～6月)	近代以前の世界各地域の諸文明	<p>○世界の諸地域の形成・特徴・相互の関わりについて、よく理解している。</p> <p>○私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。</p> <p>○日本や世界の様々な地域の人々の歴史的な営みの痕跡・記録・遺物、文書の資料などに基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p>	<p>○世界の諸地域の形成・特徴・相互の関わりについて、よく考察し、表現することができる。</p> <p>○近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などに関わらせて、日本や日本周辺の地域の諸事象と世界の歴史との関連性について考察し、表現している。</p> <p>○複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを分析し、表現している。</p>	<p>○世界の諸地域の形成・特徴について、現代との関連を主体的に追究しようとしている。</p> <p>○近代以前の世界について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>
前期(7月～)後期(8月～10月)	近代化と私たち	<p>○交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>○18世紀のアジアや日本におけ</p>	<p>○近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、現代とのつながりに着目して重要な論点を表現している。</p> <p>○18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア</p>	<p>○近代化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>

		<p>る生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、アジアの経済と社会を理解している。</p> <p>○産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、資本主義の発展と工業化、世界市場の形成を理解している。</p> <p>○17～19世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解している。</p> <p>○列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア・アフリカ諸国の変容を理解している。</p> <p>○現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解している。</p>	<p>諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなど考察している。また、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりすることができる。また、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○帝国主義政策の背景、帝国主</p>	
--	--	---	---	--

			<p>義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりすることができる。また、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	
後期(11月～12月)	国際秩序の変化や大衆化と私たち	<p>○国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、民族運動、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。</p> <p>○第一次世界大戦の展開、日本</p>	<p>○国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、表現している。</p> <p>○第一次世界大戦の推移と大戦が世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどし</p>	<p>○国際秩序の変化や大衆化と私たちの生活について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>

		<p>やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</p> <p>○大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p> <p>○世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺と崩壊を理解している。</p> <p>○第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p> <p>○現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴</p>	<p>て、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動・民族運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼし</p>	
--	--	--	---	--

		史を理解している。	た影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりすることができる。また、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ○事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現している。	
後期(1月～3月)	グローバル化と私たち	○冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 ○脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先	○グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 ○地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と	○グローバル化と私たちについて、持続可能な社会の実現を視野に入れ、現代的な諸課題を主体的に追究、解決しようとしている。

		<p>進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。</p> <p>○西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と歴史の進展を組み合わせ、日本の社会を理解している。</p> <p>○石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展、エネルギー問題などを基に、資本主義経済の変容と課題を理解している。</p> <p>○冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の特性と課題を理解している。</p> <p>○人類史としての歴史という観点から、歴史的経緯を踏まえ、現代的な諸課題を理解している。</p>	<p>冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソビエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりすることができる。市場経済のグローバル化の特徴と問題点、日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表</p>	
--	--	---	---	--

			<p>現している。</p> <p>○冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較・関連付けたりするなどして、資本主義経済の変容と冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>○事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして主題を設定し、主題について多面的・多角的に分析し、表現している。</p>	
主な評価方法	定期考査	定期考査 レポート 発表	行動観察(出席、授業態度) レポート、発表、ノート等提出	
その他				